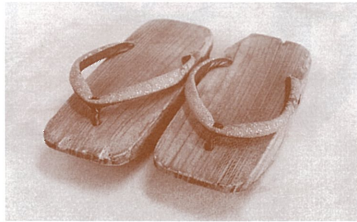


小島貞二宛正岡容書簡 (1957年)



宗左近の下駄



水木洋子の着物

企画展

文学の街 いちかわ

— 収蔵品でたどる —

千葉県市川市は、「万葉集」に詠まれた「真間の手児奈」をはじめ、多くの作品の舞台となり、また多くの文学者が居住、滞在し、創作活動を行ってきました。その中には、井上ひさし（劇作）、梶山俊夫（絵本）、北原白秋（詩、短歌）、小島貞二（演芸・相撲評論）、阪井久良伎（川柳）、宗左近（詩）、永井荷風（小説）、能村登四郎（俳句）、星野道夫（写真）、正岡容（小説・評論）、水木洋子（脚本）など、多彩な人びとがいます。

本展では、彼らの著作や原稿、書簡、愛用品など、文学プラザ所蔵資料を中心として「文学の街 いちかわ」の魅力をご紹介します。



永井荷風が使用した裁縫道具



小島貞二が落語家などからもらった手ぬぐい



阪井久良伎 軸「五月鯉」

同時開催 生誕100年 今井正の仕事展

今年生誕100年をむかえた映画監督・今井正は、1950年代の日本映画黄金時代に、優れた作品の数々を創出しました。彼が市川市在住の脚本家・水木洋子と組んで作り上げた「また逢う日まで」「ひめゆりの塔」「にぎりえ」「ここに泉あり」「純愛物語」「キクとイサム」は、映画賞を受けるなど、いずれも高い評価を得ています。当館所蔵水木洋子コレクションには、今井から水木に宛てた書簡をはじめとして、名作を生み出すまでの両者の苦労の跡の残る貴重な資料が含まれています。2人で作り上げた全11作の軌跡と、出会いから晩年までの両者の交流をたどる展示です。



水木洋子宛今井正書簡 (1954年・「ここに泉あり」製作関連資料)



「ひめゆりの塔」セットにて水木洋子と今井正 (1952年)

関連イベント (無料)

■第13回脚本家 水木洋子の世界

「ひめゆりの塔」上映と香川京子さんのトーク

日時／4月21日(土) 13時～

会場／グリーンスタジオ (生涯学習センター2階) 定員／220名

申込方法／往復はがきに①参加人数 (はがき1枚につき2名まで申し込み可)、②代表者の住所・氏名・電話番号、③返信宛先を明記の上、文学プラザへ郵送 (〒272-0015 市川市鬼高1-1-4 文学プラザ「ひめゆりの塔」係)

募集期間／3月17日(土)～3月31日(土)まで (消印有効)。定員を超えた場合は抽選。

映画「ひめゆりの塔」(1953年 東映)

脚本 水木洋子 監督 今井正

出演 津島恵子、香川京子、岡田英次ほか

■文学鑑賞講座「今井正と水木洋子」

日時／6月14日(木) 14時～ 会場／文学プラザ

定員／60名 (要申込 電話でも可)

講師／新井千恵 (文学プラザ学芸員)

■第12回市川手児奈文学賞入賞作品展

市川を詠んだ短歌・俳句・川柳の一般の部の入賞作品と子どもの部の優秀作品を展示

会期／2月4日(土)～5月20日(日) 10時～17時

【贈賞式】日時／2月5日(日) 13時～15時

会場／グリーンスタジオ

■第4回市川・荷風忌

日時／5月3日(木・祝) 14時～16時30分

会場／グリーンスタジオ 定員／220名 (要申込 電話でも可)

内容／ビデオ上映「永井荷風」(2003年 紀伊國屋書店)

監修：紀田順一郎 ナレーション：香川京子 63分

講演「『荷風全集』新収資料をめぐって」

鈴木康之 (岩波書店編集局) ほか

■夏の文学散歩「文人の愛した八幡を歩く」

いずれも10時～12時 (全2回参加ができる方)

日時／6月20日(水) 文学プラザ集合

6月27日(水) JR本八幡駅集合→葛飾八幡宮→水木洋子邸ほか

定員／30名 (要申込 電話でも可)

テキストとして『市川の文学 散文編』を使用

案内図 JR・都営新宿線本八幡駅または下総中山駅から徒歩15分

